

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭62年度・平成4年度	根拠法令・例規等	姉妹都市提携、文化交流協定
総合計画	大項目	基本構想	03 協働「コミュニティ」	問	担当課(室)
	中項目	基本計画	04 地域での支え合いを基本とした協働を推進するまち	合	市民協働課
	小項目	施策	13 国際交流・地域間交流の推進	先	職・氏名
事務事業名		01	国際交流事業	先	電話
				先	0869-64-1806
				先	このシート作成に要した時間
				先	3.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	国際交流事業に関心のある方	
目的(何のために)	海外の人々との交流を通じて国際相互理解を推進し、地域づくりの推進力となる国際性豊かな人材の育成を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	海外との交流人口を増やすことで市民の国際理解を促し、グローバルな視野を持った人材を育成する。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
韓国文化交流事業	韓国蔚山市東区文化院との文化協定に基づく交流事業。	◎
オーストラリア姉妹都市交流事業	オーストラリアのクレア&ギルバートバレー町との姉妹提携に基づく交流事業。	◎
国際交流支援事業	国際交流協会の円滑な運営を支援。	○
東南オーストラリア州友好協会会費	県南オーストラリア州友好協会に対する会費。	▲
県国際交流協会会費	県国際交流協会に対する会費。	○
市国際交流協会助成金	市国際交流協会に対する助成金。	○
多文化共生事業	交流団体を含めた多文化との交流推進事業。	▲
国際交流ウィラ管理運営事業	吉永・八塔寺ふるさと村に設置されている国際交流ウィラの管理運営。4部屋、13人収容	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	3,285	2,557	3,498
	必要人員費	人	0.48人	4.099	0.32人
	必要人員費	人	4.099	0.52人	4.484
決算額	事業費計	千円	7,384	7,041	6,069
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円	1,389	1,566	1,789
財源	繰入金	千円	567	711	562
	市債	千円			
	その他()	千円		2	2
一般財源	千円	5,428	4,772	3,716	
受益者負担比率	%	18.8%	22.1%	29.5%	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	国際交流ウィラ利用者数	説明			
	結果指標量	人	384	437	509
	対前年比	%	-	113.8%	116.5%
	活動コスト	円	1,841,000	1,885,000	2,128,000
単位当たりコスト	円	4,794	4,314	4,181	

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
交流事業参加者	目標値 (A)	150	150	150	150	
	実績値 (B)	113	162	73	到達目標値	
	達成率 (B/A)	75.33%	108.00%	48.67%	200	
成果指標設定の考え方・式や説明						
派遣・受入事業及び国際交流事業へ多くの方に参加していただき国際交流の輪を広げていく。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 低 高 B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 低 高 C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 低 高 C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○						
説明	韓国、オーストラリアからの友好訪問団を受け入れる年度となっている。ホームステイを基本的に人的な交流を深める。							

総合評価		総合評価
姉妹都市等との交流については、本市の関与が必要であるが、相手先はいずれも民間団体が主体となって事業実施を行っている。備前市国際交流協会へ実施主体をシフトすることで、市民レベルでの交流を進めることが、国際交流事業に広がりを持たせる意味でも有効である。国際交流ウィラについては、外国から訪れる方からの評価も高く、地域での国際交流や備前市の魅力を伝えるうえで重要な施設であると同時に吉永地区における貴重な観光資源である。	総合評価	ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 低 高 C

平成27年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○						
取組目標	適正な参加者負担金の設定による経費削減、国際交流協会主体による事業実施にシフトさせつつ、国際交流事業を市民に身近な活動として広げるよう務めていく。国際交流ウィラについては、宿泊者数の増加による経営改善を進めるとともに、施設の老朽化に伴う整備方針についても近隣の類似施設も含めて総合的に検討していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

がある目的やその数値目標に留意しながら